

稲作だより

第 11 号
登熟期編

令和 4 年 8 月 25 日 発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329 (稲作担当)

**出穂やや遅く、圃場間差が大きい！
良好な登熟を促すため、水管理の徹底を！**

< 生育診断圃の穂揃期調査結果 >

地帯	年次	出穂期 月日	止葉 枚	穂数 本/㎡	一穂粒数 粒/本	総粒数 百粒/㎡	葉色 SPAD
平坦 はえぬき 新庄市泉田	本年	8/10	13.5	504	68.2	344	36.0
	前年	8/5	12.7	574	63.4	364	35.2
	平年	8/6	12.5	545	64.7	353	35.0
	平年比	+4	+1.0	92	105	97	+1.0
平坦 雪若丸 新庄市泉田	本年	8/13	13.5	584	54.9	321	35.7
	前年	8/5	12.5	611	51.2	313	35.5
	指標	8/2	13.0	560	54.0	300	36.0
	指標比	+11	+0.5	104	102	107	-0.3
平坦 つや姫 舟形町富田	本年	8/15	12.6	516	63.2	326	32.4
	前年	8/7	12.9	471	66.6	314	29.4
	平年	8/10	12.9	462	67.3	310	31.1
	平年比	+5	-0.3	112	94	105	+1.3
中山間 あきたこまち 最上町向町	本年	8/4	13.0	457	74.4	340	36.0
	前年	7/30	12.8	542	63.6	345	36.4
	平年	8/1	12.5	511	69.0	352	38.8
	平年比	+3	+0.5	89	108	97	-2.8

出穂は平年に比べてやや遅くなりました。同一品種でも出穂にバラつきが見られ、穂揃いが悪い圃場が見られます。「はえぬき」「あきたこまち」は穂数が少なめですが、総粒数はいずれの品種も概ね確保されています。

< 今後の管理 >

◎水管理 ～出穂30日後までの間断かん水を継続～

玄米の厚さは出穂 30 日後頃に決定します。早期落水を行うと、厚みが無く干粒重の軽い米になり、また、胴割粒の発生も助長されます。

原則出穂 30 日後までは水を切らさず、稲の活力を維持しましょう。

出穂後日数	水管理	土壌水分保持の目安
5～20日	間断かん水	少なくとも、くぼみに水が溜まる程度。 高温が予想される際は、水を動かす管理を行う。
21～30日	飽水管理	足を入れ、かかと部分に水がにじむ程度
31日～	黒乾亀裂	一部小ひびが入る程度に乾かします。 白乾亀裂は NG

◎病害虫防除 ～斑点米カメムシ類の補完防除～

8月いっぱい草刈り休止期間とし、原則畦畔・農道・休耕田等の草刈りを行わず、水田への斑点米カメムシ類の侵入を防ぎましょう。やむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除直前に行います。

穂揃期の7～10日後に行った防除後に水田内で斑点米カメムシ類を確認した場合は、**補完防除（2回目防除の7～10日後）を行いましょ**う。

なお、農薬の収穫前使用日数および同一薬剤の使用回数に注意しましょう。



農薬危害防止運動実施中！（6/1～8/31）



ラベルで登録内容をしっかり確認！

近隣の栽培品目やみつばち飼育の有無を確認し、ドリフト被害等を防ぎましょう

◎収穫 ～適期刈取に向けて余裕を持った刈取準備を～

< 収穫準備のポイント >

- ① 機械の点検作業を早めに進めよう
適期内に刈取作業が行えるよう、機械や設備の点検作業は計画的に進めましょう。
- ② 圃場に合わせた刈取計画をたてよう
同一品種でも圃場により刈取適期が大きく異なることが予想されます。また、「ひとめぼれ」「はえぬき」「雪若丸」等は刈取適期が重複する可能性があります。登熟の状況をよく確認し、刈取りや乾燥調製の計画をたてましょう。

< 積算気温による今年の刈取適期予想（8月23日現在） >

地帯	品種名	出穂期	出穂期以降の積算平均気温(℃)					青糲歩合 (%)		
			950	1,000	1,050	1,100	1,150		1,200	
平坦	はえぬき	8/10	9/20	←-----→					10/4	20
	雪若丸	8/13	9/25	←-----→					10/10	15-20
	つや姫	8/15		10/1	←-----→					10/13
中山間	あきたこまち	8/4	9/15	←-----→					9/22	15

※普及課作況圃の場合

※平坦は新庄、中山間は向町のアメダスデータを使用。（～8/22：本年実況値、8/23～：平年値）

※各圃場の生育や今後の気象経過により、刈取適期は変動しますのでご注意ください。

< 刈取適期判断のポイント >

出穂後の積算気温 枝梗の黄化程度 青糲歩合15～20% 糲水分25%以下

早刈りは高水分糲による乾燥効率の低下や青未熟粒の混入、刈り遅れは着色粒・胴割粒・光沢低下などにより品質が低下します。

刈取適期は出穂後の積算気温、青糲歩合、糲水分等から総合的に判断しましょう。

令和4年秋の農作業安全運動が始まります（9月1日～10月31日）

- ・機械作業時は補助作業者の位置と合図を確認しましょう
- ・機械の点検はエンジンを止めてから！